

# ご近所のお医者さん

 671 

大平耳鼻咽喉科院長 **大平真司さん** 一東大阪市

## かかりつけ医って？

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、今年5月で1年になります。コロナ禍で私たちはさまざまな教訓を得ました。未知のウイルスだった頃には、当たり前だったはずの医療機関の受診にも困ったという患者さんが多くおられました。

私たち医療従事者も苦しい戦いでしたが、多方面で支え合い、諸外国に比べ非常に低い致死率で乗り越えることができました。

大阪府医師会は2月11日に「かかり

つけ医ってなに？—あなたや家族の健康、誰と守る？」と題し、公開討論会を実施しました。

「かかりつけ医」という言葉は以前からありましたが、コロナ禍を経験し、年齢や持病の有無を問わず、いざという

## 若年層への啓発

時に信頼できるなじみのお医者さんとして、かかりつけ医を持つことの重要性を感じられた方も多いと思います。

そこで今回は、若い世代にかかりつけ医について考えていただくきっかけづくりとして、タレントのゆめぼてさん

をゲストに迎え、10代の目線で疑問を投げかけていただきました。当日は、

茂松茂人日本医師会副会長や阪本栄府医師会副会長が登壇し、かかりつけ医の定義やその役割を発揮するための

「かかりつけ医機能」などを解説し、彼女の質問に答えました。

最近一人暮らしを始めたゆめぼてさんは、どこで受診しようか困った経験を話されましたが、これからは難しく考えず、将来の自分のために話しやす

いかかりつけ医を探されるようです。私もコメンテーターとして登壇しましたが、彼女のような若い方にも自分

や家族のために、医療や心身の健康を相談する窓口として、かかりつけ医を身近に感じてもらうことは大切だと考えます。また私自身も、かかりつけ医に選ばれよう研さんを重ね、地域連携に努めたいと改めて思いました。

討論会は9日の本紙の特集紙面で掲載されるほか、動画投稿サイト「ユーチューブ」

二次元コードで視聴できますので、ぜひご覧ください。  
(府医師会理事)

